

2月	矢作川 愛護モニター報告	モニター区間	矢作川:左右岸 15.0km~21.0km
			管轄出張所:岡崎・安城出張所
実施日	令和 6 年 2 月 2 日	実施区間	18.0km ~20.0.km (左岸)

何だ?!「赤渋排水ひ管」 調べると様々な工夫が

右の写真(①②)の施設は、今まで何度も見てはいたのですが、今回初めて近付いて確認をしました。「赤渋排水ひ管」のネームプレートがありました。岡崎市の所管です。

ネットで調べると「ひかん=樋管」とは「堤内地の雨水や水田の水などが川や水路を流れ、より大きな川に合流する場合、合流する川の水位が洪水などで高くなった時に、その水が堤内地側に逆流しないように設ける施設」(河川学習システム編集部より)の説明がありました。

このようにして、洪水などの被害をより確実に防ぐ手立てが取られているのだと分かりました。

忘れた頃に・・・学びたい過去の災害 伊勢湾台風では死者33人

ちなみに、この岡崎地区の数十年の歴史で最も被害が大きかった自然災害は、伊勢湾台風(1959年)で、「死者33人、家屋全壊1139戸、床上・床下浸水217戸」という記録が残っています。今年は、正月早々、石川県で大震災がありました。国や県・市で様々な自然災害に対して対策がとられています。私たち市民も関心をもっていく必要があると、今回のモニターで痛感しました。



① 渡橋下流(20.0Km地点)の「赤渋排水ひ管」



② 標高分と合わせて、約10mの高さの施設



③ 大きく広がりを見せる河川敷(19.0Km付近)



④ 鮮やかな朱塗りの美矢井橋(上流に向かって撮影)ときれいに整備された河川公園



⑤ 美矢井橋下付近、流水で倒れた? 樹木